

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

薬の知識を修得するだけでなく、患者様一人ひとりの心に深く寄り添うことができる力を身に付けたいと考え、同志社女子大学を志望校としました。また、教育理念の一つとして「キリスト教主義」を掲げており、医療従事者として大切にすべき「隣人愛の精神」を深く学ぶことができる大学であると感じたことも、志望校に決めた理由の一つです。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

学力だけでなく、自分自身が過去に行ってきた活動やそれらを通して得たものなど、「経験」を評価していただける入試に魅力を感じ、AO方式入学者選抜を受けようと思いました。また、自分の言葉を通して大学へ入学したい思いを伝えたいと思ったからです。学力と異なり点数を付けることができない、自分が持っている経験や人柄を評価していただける大学で学びたいと考えていたので、一番自分に合った入試方法だと思いました。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

中学高校と6年間続けた聖歌隊の活動や文書伝道、宗教部の活動など宗教に関わる活動に加え、部活やボランティア活動を通して頑張ったこと、海外生活の経験などをアピールしました。また、これらの経験を通してどのようなことを学んだのか、何をどう乗り越えたのかなど、自分自身が得ることができたスキルもアピールしました。資格もあれば書けるだけ書くと良いと思います。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

文章は何度も先生に添削していただき、「これが一番良い」と思えるものになるまで書き直しました。自己アピールの文では、行ってきた活動を通して自分が何を得たのかを明確に伝えること、志望理由書では、大学で学びたい思いを素直に伝えること、課題レポートでは、テーマに沿った聖句をいくつか使い、その聖句とリンクする自分の経験を交えて簡潔に書くことをそれぞれ心がけました。

〔面接〕

予め、どのような質問をされるかを考えて、その質問にどう答えるかを箇条書きにして書き起こし、面接直前まで何度も読み返しました。特に、一次審査で提出した書類の内容はしっかりと頭に入れておきました。また、大学のパンフレットや宗教部の案内など、資料は隅々まで読み込みました。思いがけない質問もありましたが、自分の考えや思いを素直に伝えることが大切だと感じました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO方式入学者選抜の入試方法では、一次審査の書類作成で多くの時間が必要となるので、前もって準備しておくことをおすすめします。また、できるかぎり多くの活動を行い自分の近くにあるチャンスを見逃さないでほしいです。経験は一生の財産になります。オープンキャンパスでAO入試で入学された先輩のお話を聞くことも合格への一歩となるので、ぜひオープンキャンパスに参加して下さい。みなさんが入試でベストを尽くすように。